

下流水路 (St. 1) モニタリング結果【令和 7 年度】

1 モニタリングの目的

下流水路 (St. 1) の水質モニタリングは、単に環境基準等への適合を評価するものではなく、施設の設置前から水質の経年の推移を把握しながら、管理型最終処分場が正常に稼働しているかどうか継続的に評価・確認し、適切な監視・指導につなげていくことを目的とするものです。



2 項目別の結果

項目	測定年月日	R7. 5. 27	R7. 9. 24	R7. 11. 11	R8. 1. 20	(参考 1) ※注 1 最小値～最大値	(参考 2) ※注 2 基準値 (参考)	
		生活環境項目 (C 類型・生物 B その他)	水素イオン濃度 (pH)	—	7. 5	7. 3	7. 3	7. 3
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0. 5	0. 9	1. 3	1. 3	0. 5～1. 5	5 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	1. 6	1. 4	1. 1	2. 0	0. 5～2. 0	—
	浮遊物質 (SS)	mg/L	9	3	1	3	1～9	50 以下
	溶存酸素量 (DO)	mg/L	8. 4	7. 6	8. 5	9. 7	7. 6～10	5 以上
	大腸菌数	CFU/100mL	10	64	97	19	10～97	—
	全亜鉛	mg/L	0. 005	0. 004	0. 001	0. 007	0. 001～0. 014	0. 03 以下
	ノニルフェノール	mg/L	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006	定量下限値未満	0. 002 以下
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)	mg/L	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	定量下限値未満	0. 05 以下
	全窒素 (T-N)	mg/L	1. 2	1. 5	1. 6	1. 8	1. 2～9. 1	—
	全リン (T-P)	mg/L	0. 048	0. 040	0. 044	0. 047	0. 040～0. 12	—
健康項目	カドミウム	mg/L	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	定量下限値未満	0. 003 以下
	全シアン	mg/L	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されないこと
	鉛	mg/L	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	定量下限値未満	0. 01 以下
	六価クロム	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	定量下限値未満	0. 02 以下
	砒素	mg/L	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	定量下限値未満	0. 01 以下
	総水銀	mg/L	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	定量下限値未満	0. 0005 以下
	アルキル水銀	mg/L	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されないこと
	P C B	mg/L	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	定量下限値未満	0. 02 以下
	四塩化炭素	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	定量下限値未満	0. 002 以下
	1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	定量下限値未満	0. 004 以下
	1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 01	<0. 01	定量下限値未満	0. 1 以下
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	定量下限値未満	0. 04 以下
	1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0. 0005	<0. 0005	<0. 1	<0. 1	定量下限値未満	1 以下
	1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	定量下限値未満	0. 006 以下
	トリクロロエチレン	mg/L	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	定量下限値未満	0. 01 以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0. 0005	<0. 0005	<0. 001	<0. 001	定量下限値未満	0. 01 以下
	1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	定量下限値未満	0. 002 以下
	チウラム	mg/L	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	定量下限値未満	0. 006 以下
	シマジン	mg/L	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	定量下限値未満	0. 003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	定量下限値未満	0. 02 以下	

	ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	定量下限値未満	0.01 以下
	セレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	定量下限値未満	0.01 以下
	硝酸性窒素 (NO ₃ -N)	mg/L	1.2	1.4	1.5	1.5	1.2~1.8	10 mg/L 以下 (合計値)
	亜硝酸性窒素 (NO ₂ -N)	mg/L	0.002	0.062	<0.05	<0.05	<0.05~0.062	
	ふっ素	mg/L	0.19	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08~0.19	0.8 以下
	ほう素	mg/L	0.02	0.04	<0.1	<0.1	<0.1~0.04	1 以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	定量下限値未満	0.05 以下
その他	電気伝導率	mS/m	20	22	19	21	19~25	—
	塩化物イオン	mg/L	14.1	9.28	14	18	9.28~14.1	—
実施機関 ^{※注3}			センター	センター	県	県	—	—

注1) 「最小値～最大値」は、令和7年2月以降の結果を記載した。

注2) 「基準値(参考)」は、周辺環境の状況を踏まえ、環境基準等を記載した。(「—」は対応する基準値なし。)

注3) モニタリング実施機関〔「県」：鳥取県、「センター」：(公財)鳥取県環境管理事業センター〕

注4) 結果欄に「<」と表示されている数値は定量下限値を示す。

※ダイオキシン類の結果について

ダイオキシン類は、一般環境中の汚染状況の調査を行っており、調査結果は鳥取県のホームページに掲載されています。(https://www.pref.tottori.lg.jp/20423.htm)

同地点における結果(速報値)を記載しました。

項目	測定年月日	測定年月日					環境基準 (年間平均値)
		R7.2.7	R7.4.18	R7.7.24	R7.10.10	R7.12.10	
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.069	欠測	0.046	0.037	0.033	1

備考) 調査地点(塩川 支流上流地点(支流上流部))

環境基準とは

水質汚濁に係る環境基準とは、「維持されることが望ましい基準」であり、「人の健康の保護に関する環境基準」(健康項目：有害な重金属類や化学物質等)と「生活環境の保全に関する環境基準」(生活環境項目：有機汚濁物質、浮遊物質(SS)などのいわゆる「水の汚れ」等)が定められています。健康項目は、飲料水として用いた場合、生涯にわたり連続的に摂取(体重50kgの場合、毎日2リットル)しても健康に影響が生じない水準に設定されており、生活環境項目は、水道、水産、工業用水といった利水目的や水生生物の保全を考慮して設定されています。

(参考：国立環境研究所HP <https://www.nies.go.jp/eqsbasis/water.html>)

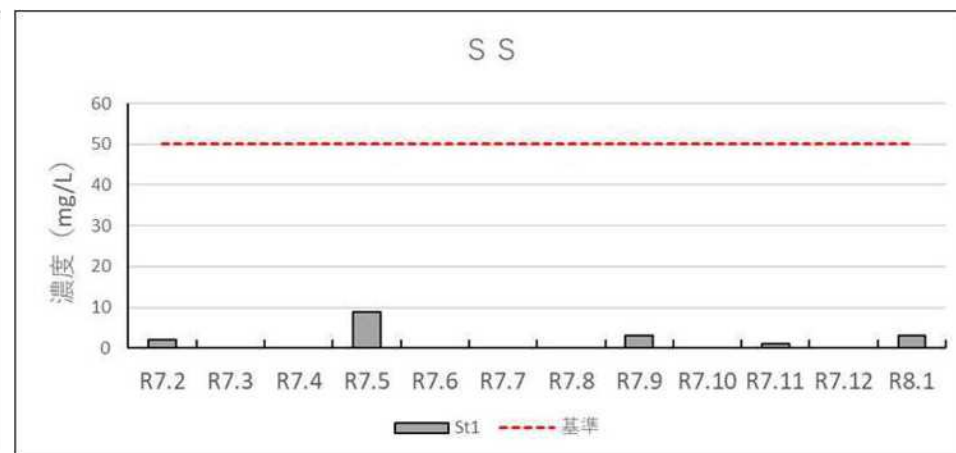
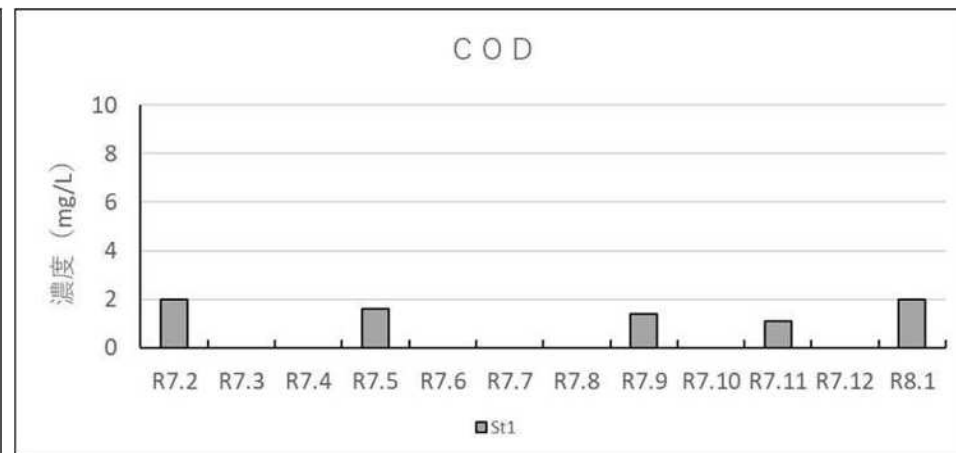
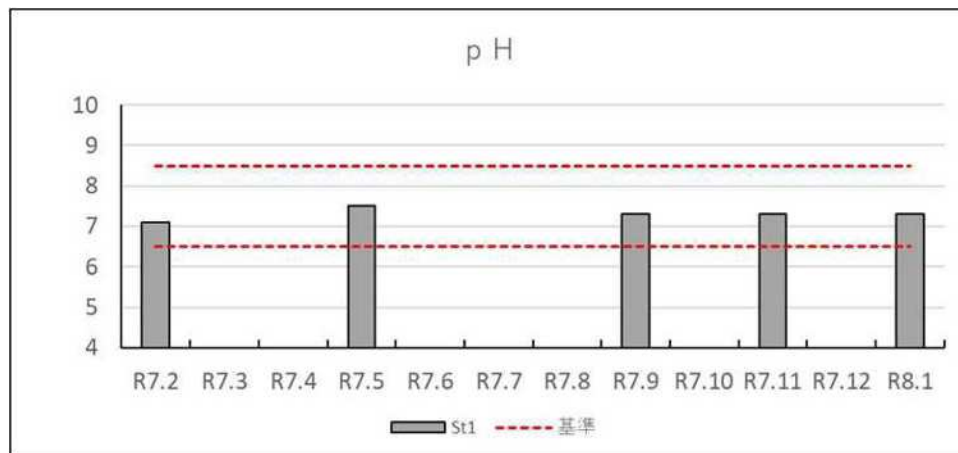
3 経年推移

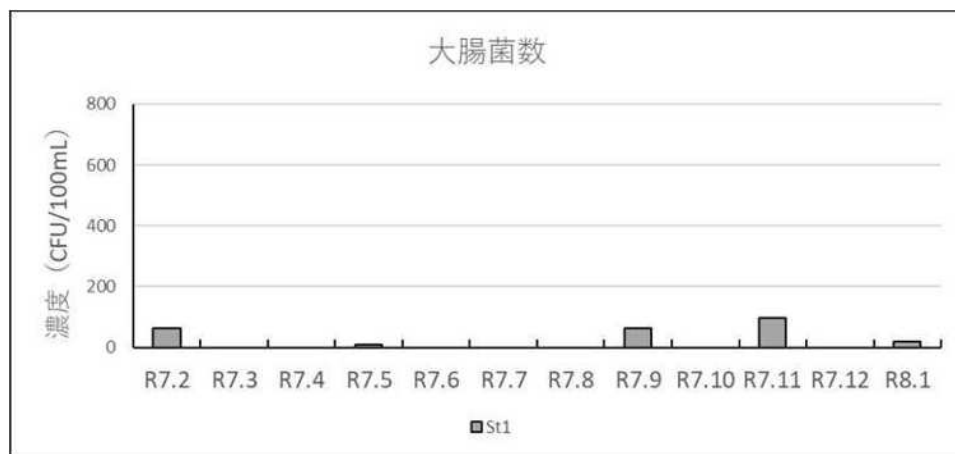
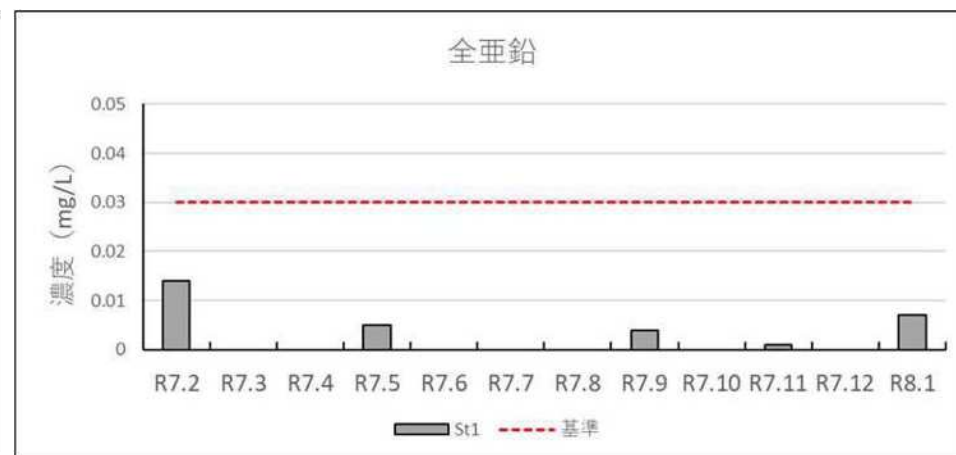
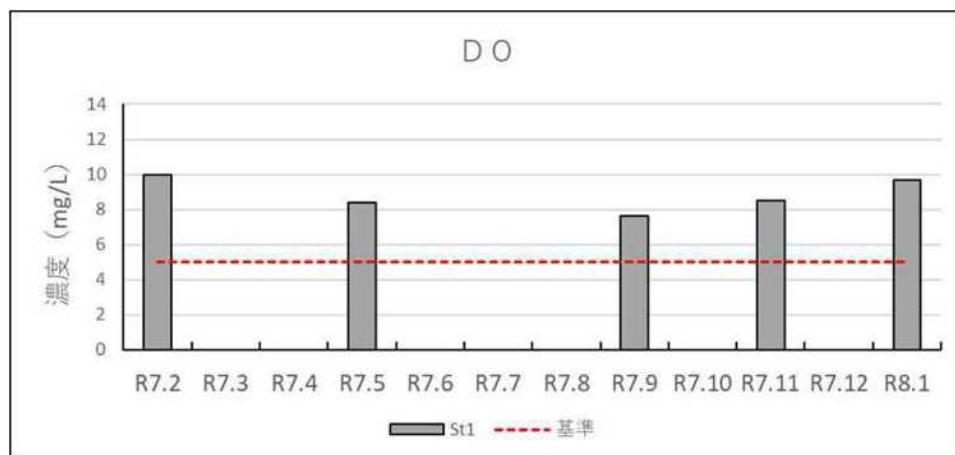
別紙のとおり

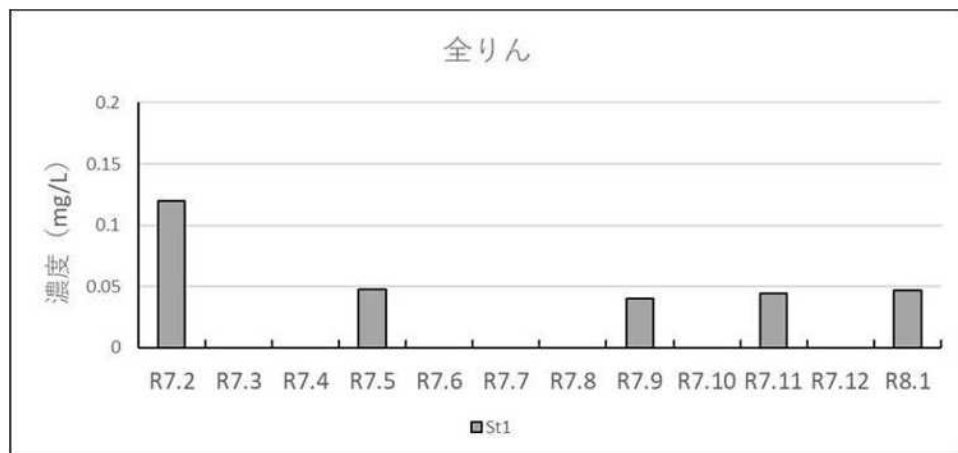
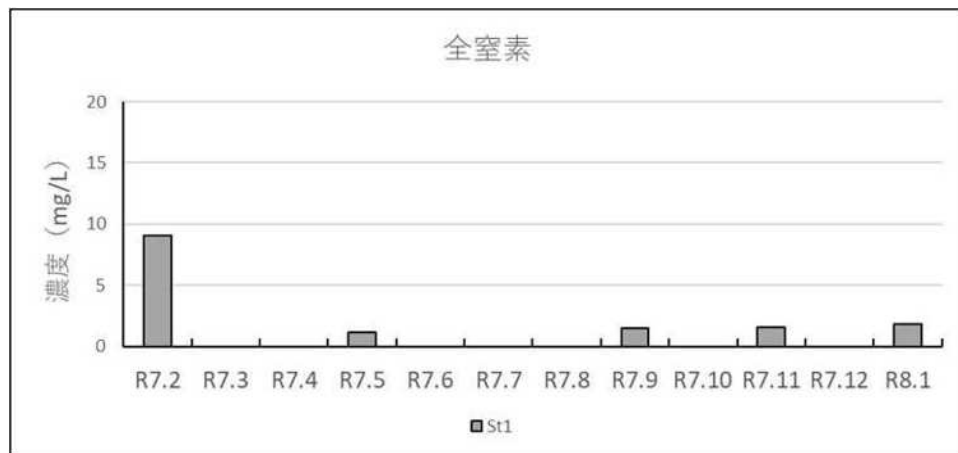
水質モニタリング結果（経年推移）

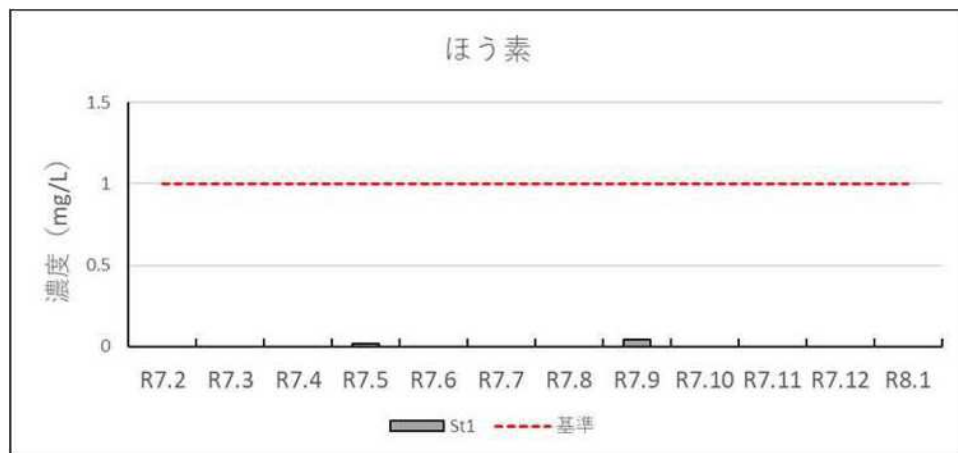
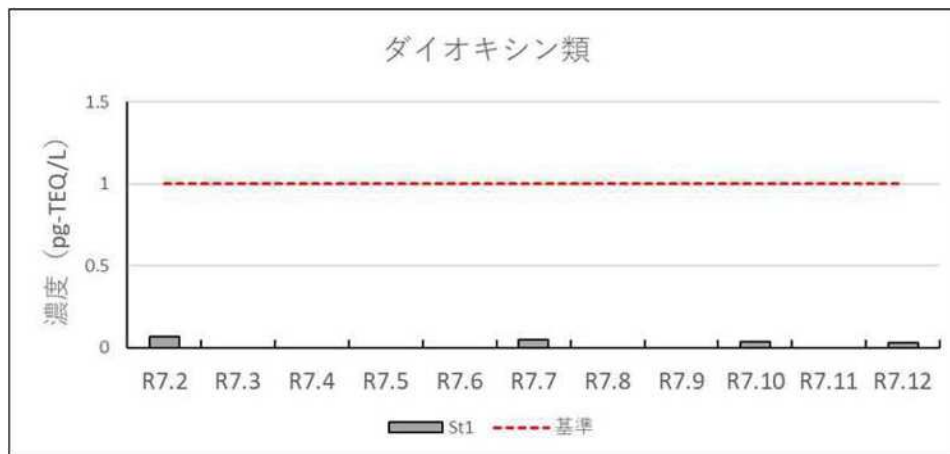
－ 下流水路（St1） －

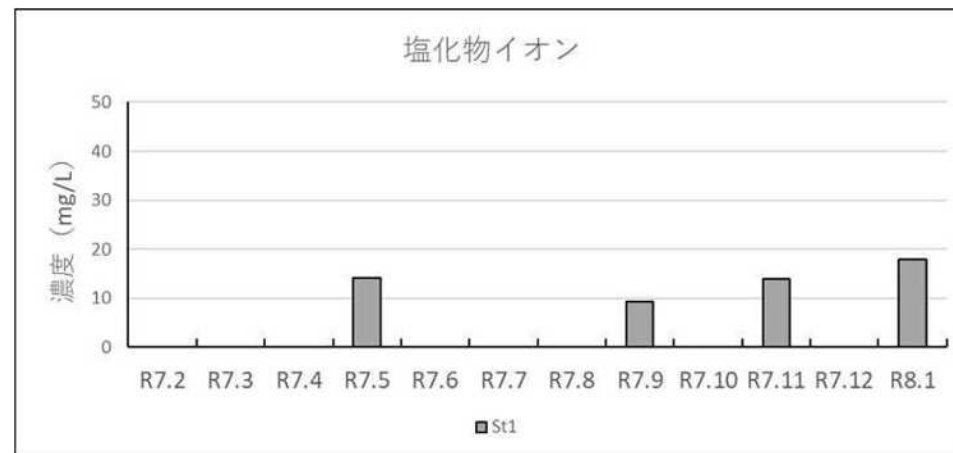
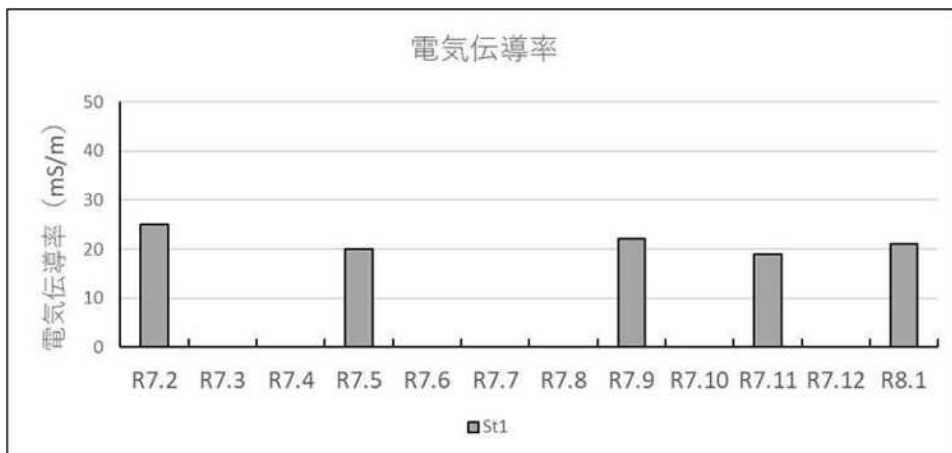












その他の項目：定量下限値未満